

かつたっ子授業のスタンダード

① めあて(目標)

- 「この授業で何が分かればいいのか」「何を理解するか」を明示する。
- 「めあて」は、黒板の左上に口で囲み、簡潔なことばで分かりやすく板書する。
(縦書きの場合は、右)

② 自分で考え表現する時間の確保

■ 「教師が教える場面」

- 明解な説明を！
 - ・ ICT 機器の活用や具体物の準備で、合理的な配慮を…
 - ・ 多弁は罪です！ 端的で明快な説明を…
- 構造的な板書を！
 - ・ 授業後に板書を見て、その授業のポイントがつかめるように…

教える場面と考えさせる
場面を明確に区別する。

■ 「生徒が考え表現する場面」

- 「今、何をするのか」「何を考えるのか」を明確に…
- 考える道筋や表現する手立てを…
- 活動サイクルの導入を…
 - ・ 「個→ペア・グループ→個」必ず、個で考える場面に戻ることを意識して…

活動内容や
活動時間を明
示する。

③ 達成度の確認

- 「この授業で何が分かったか」「どこまで、理解できているか」を確認する。
- 一人一人の達成状況の確認を元に、個に応じた指導を行う。

④ まとめ

- 「まとめ」をきちんと板書する。
- ノート指導の徹底→予め、各教科のノートの取り方で説明を…

⑤ 振り返り

- 個々の生徒に本時の振り返りをさせる。→文章でまとめる習慣を…

☆自分の考えをまとめて書く、発表する活動を取り入れよう！
☆合理的配慮を意識して、授業のユニバーサルデザイン化を！